

だれ たいせつ きも  
誰かを大切にしたい気持ち

GAUTAM ANISHA  
(ゴウタム アニシャ)  
しゅっしんち  
出身地：ネパール

みなさん、こんにちは。ネパールから来たアニシャです。

さて、みなさん。昨日はバレンタインデーでしたね。女性のみなさん、チョコレートあげましたか？男性のみなさん、チョコレートをもらいましたか？私は自分でチョコレートを買って、一人で食べました……。今日はバレンタインデーにも関係する話をしたいと思います。よろしくおねがいます。

私は日本に来て4年になります。日本に来て、びっくりした事がたくさんあります。その中でも一番びっくりした事は、勉強でもなく、日常生活でもなく、「恋愛」でした。ネパールと日本では、同じ「恋愛」でも文化が全く違います。私はその違いを知り、とても驚くことが今でもたくさんあります。

まず驚いたのは、バレンタインデーです。日本では、女の子が好きな男の子にチョコをあげるのが一般的ですね。そしてホワイトデーになると、今度は男の子がチョコを返します。でも、ネパールではバレンタインデーに男の子が女の子にチョコやバラの花をあげます。ホワイトデーはありません。そのため、日本のバレンタイン文化を初めて聞いた時、「え？女の子があげるの？」と本当にびっくりしました。

日本では付き合う時にはよく「告白」から始まると聞きました。「付き合ってください」と、はっきり言葉で気持ちを伝えるんです。そのため、いつから恋人なのかがわかりやすく、関係がとてもはっきりしています。一方ネパールでは、「付き合ってください」と告白することはあまり多くありません。一緒に時間を過ごし、自然に仲良くなり、気がついたら恋人になっている、ということがよくあります。ネパールの恋愛では、言葉より行動が大切にされるようです。このように、日本の恋愛は「言葉で気持ちを伝える」ことが大切で、ネパールの恋愛は「行動で気持ちを示す」ことが大切だと感じます。

逆に別れる時には、日本では「別れてほしい」と伝えるそうです。男の子からでも女の子からでも言うそうですね。それはネパールでも同じです。

どちらが良い、悪いではなく、文化の違いによって、恋愛の形も変わるのだと思います。でも誰かを好きになること、誰かを大切にしたい気持ちは同じだと思います。私は最近

にほんご おも ことば し おも あいて きも あいて  
日本語の「思いやり」という言葉を知りました。「思いを相手にやる」つまり「気持ちを相手  
む いみ あいて きも かんが いみ  
に向ける」という意味だそうですね。「相手の気持ちになって考える」という意味もあるそ  
うです。だれ おも む たいせつ おも おも  
誰かに思いを向けて、大切に思うことはすてきなことだと思ひます。だからこそ、  
ちが たの じぶん れんあい かたち み たが たいせつ かんけい きず  
違いを楽しみながら、自分らしい恋愛の形を見つけて、お互いを大切にする関係を築いて  
おも しあわ おとず  
いきたいと思ひます。みなさんにも幸せが訪れますように！！